



令和6年度 学校経営方針について

浦安市立入船小学校

1 学校教育目標

なかよく・かしこく・たくましく
～夢と希望を持ち未来に羽ばたく入船っ子の育成～

2 めざす児童像

豊かなかかわりを通して

なかよく	自分も相手も大切にする子
かしこく	学ぶ楽しさを味わう子
たくましく	心身ともにたくましい子

浦安市学校教育推進計画基本目標
自ら学び 自他を尊重する心と
新しい時代を切り拓き
しなやかに生きる力の育成

豊かなかかわり
(徳) 自他を尊重する心
(知) 主体的な学び
(体) 健やかな体

3 めざす教師像

児童・保護者・地域から信頼される教師

- ・児童一人一人を大切にし、愛情をもって力を尽くす教師
- ・認め合い、学び合い、高めあう教師
- ・学校への参画意識を持ち、自分の役割に自信と誇りの持てる教師

4 めざす学校像

一人一人のよさを引き出す学校

- ・保護者や地域とともに、児童を育む学校
- ・自信をもって力を発揮できる、安全、安心な学校

5 令和6年度指導の重点(目指す児童像の具現化に向けて)

豊かなかかわりを通して

★認め合い、学び合い、高め合う 豊かなかかわりを基盤とする。

<指導の重点>

① 凡事徹底・凡事一流(質の向上)

- ・一生の宝物となる基本的なことを身につけさせる。
- ・凡事「進んで挨拶、話をよく聞く、時間を守る、進んで整頓、一生懸命清掃」

② かかわり合う学びの場の充実

- ・「なかよしグループ活動」等の異学年交流の充実を図る。
- ・近隣のこども園や保育園、中学校と園小中連携を推進する。
- ・コミュニティ・スクールの充実を図り、児童・学校・保護者・地域にとって Well-being (心身ともに健康で幸せな状態) な学校を作る。

自分も相手も大切にする子

- 自分に自信を持つことができる。
- 相手のことを大切にすることができる。

<指導の重点>

① 自己肯定感・自己有用感の向上

- ・「できた」「わかった」という達成感を味わわせる。
- ・安心できる居場所や認められる場をつくる。

②チームとしての人間関係づくり

- ・ お互いの個性や多様性を認め合える集団づくりをする。
- ・ チームで目標を達成する心地よさを体験させる。

③特別支援教育の充実

- ・ 特別支援コーディネーターを中心とした校内委員会等の支援体制を充実させる。
- ・ 児童一人一人のニーズに合わせた「個別の指導計画」を活用し、計画的・継続的見直しを図りながら、学校と家庭で支援内容を共有する。
- ・ 特別支援学級と通常の学級の計画的交流を推進する。

④いじめや不登校傾向の児童への対応の充実

- ・ きめ細かな児童観察と教育相談の充実を図り、未然防止と早期発見、早期対応に努める。
- ・ いちよう学級等の関係機関との連携を密にし、一人一人に合った対応をする。

学ぶ楽しさを味わう子

- 自分で考え、行動することができる。
- 課題解決に向けて、意欲的に取り組むことができる。
- 友だちと学び合う楽しさを味わうことができる。

<指導の重点>

①確かな学力の向上

- ・ 学習規律（入船小スタンダード）を徹底する。
- ・ 教科担任制やローテーション授業（道徳；全学年）、少人数指導（算数；3年以上）など指導体制を工夫する。
- ・ 学習支援室（夢希未ルーム）を効果的に活用する。
- ・ 校内研究（理科・生活科）を柱として、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習指導の改善に努める。

②子どもの主体性を引き出す活動

- ・ 子どもが明らかにしたくなる課題を設定し、子どもが主体の取組みを充実させる。
- ・ 子どもが自己の学習活動を振り返り、学習を生活に生かしていこうとするよう支援する。

③ICT 機器の効果的活用

- ・ 一人一台のタブレット端末を効果的に活用し、確かな学力を身につけるための情報活用能力の育成を図る。

心身ともにたくましい子

- 楽しく運動し、体を鍛えることができる。
- 目標に向かって努力することができる。
- 失敗を恐れず、最後まであきらめないで取り組むことができる。

<指導の重点>

①体力向上

- ・ 体育の時間の適切な運動量の確保を図る。
- ・ 体育的な活動を計画的に実施し、体力の向上を図る。
- ・ 「外遊びの時間」を活用して、体を動かす機会を確保する。

②しなやかに生きる力の育成

- ・ 挑戦する機会や場を確保し、失敗を恐れず、最後まであきらめないで取り組ませる。
- ・ 安心して失敗できる、心理的安全性が保たれた学級づくりを進める。
- ・ 学校・学年行事を通して、やり遂げる喜び、達成感を味わわせる。